

004 TICA

著作・著者	あらすじ・コメント	コメコメ
ゼロ、ハチ、 ゼロ、ナナ 辻村深月	<p>【30才の幼馴染の二人の女性。都会でフリーライターとして活躍し結婚生活をも手に入れたみずほと、地元で働き両親と暮らす未婚のOL チェミ。少しずつ隔たってきた互いの人生が重なることはもうないと思っていた。あの殺人事件が起こるまでは...】</p> <p>あらすじを話せば、なーんだそれ、ってことになるような話で感情移入するような登場人物は一人もいなかったけれど、面白かった。</p> <p>みずほは母親との間に確執を持っているが、チェミの家はべたべたしすぎで周りが引くくらいの仲良し家族。そのべたべたの方の子が母を殺し、逃亡する。チェミのことを探すみずほは友人も含め故郷に淡白な感情しか持たず勝ち組を意識してる女性。こういう人は気持ちよりも頭で身内や友人を割り切るタイプで実もなければ情もない（と思うのはわたしだけで作中にはそんな人間としては書かれていない）。</p> <p>チェミが逃亡中に知り合ったコロ助喋りをする女学生・翠の心使いの方が温かい。翠の「ちょっと病んでる」的な幼さがわざとらしいコロ助喋りも好意的に思わせる。</p> <p>作者はイマドキ言葉がうまい。母のそばにただ「いる」ことが「娘代」。故郷に「いる」から車を買ってあげちゃうよ、っていう娘代。</p> <p>〈私と仲が悪いという自覚すら希薄な母〉を疎んじるみずほの理由が、たったこれだけのことで？と思ったのはもうわたしが娘代を払う側になっただけかなんてしょか。</p>	作者の顔を知っていたら読まなかったかも。 人は外見で判断してはいけませんねー。 外見大事だけどもねー。
エチュード 今野 敏	<p>【相次いで発生した無差別殺傷事件。警察は衆人環視のなか、別人を現行犯逮捕するという失態を繰り返してしまうー】</p> <p>気軽な警察ものが読みたいと思ったときに佐々木譲は重すぎるし、横山秀夫の本は最近とんと目につかない（本屋さんならあるのですが、ブックオフとか図書館なので）。そこで横山秀夫の跡継ぎ感覚の今野敏。さくさく読みの警察ものは今やこの人かも。</p>	この本は読んだ先から忘れて行くと思われます。

<p>おはぐろとんぼ</p> <p>宇江佐真理</p>	<p>【仕事一筋に生きてきた女に訪れた転機と心模様を描く表題作の「おはぐろとんぼ」ほか、薬研堀、油堀、源兵衛堀、八丁堀などを舞台に江戸下町で堀の水面に映し出される悲喜交々の人情のかたち六編】</p>	
<p>ばんば憑き</p> <p>宮部みゆき</p>	<p>【湯治旅の帰途、若夫婦が老女との相部屋を引き受けた。不機嫌な若妻をよそに、世話を焼く婿養子の夫に老女が語り出したのは、五十年前の忌まわしい出来事だった…。表題作「ばんば憑き」のほか、『日暮らし』の政五郎親分とおでこが謎を解き明かす「お文の影」、『あんじゅう』の青野利一郎と悪童三人組が奮闘する「討債鬼」など、宮部みゆきの江戸物を縦断する全六編】</p>	<p>宮部みゆきってだけでわくわくしちゃって内容はすぐに忘れ、近い将来、健ちゃんに読んでないから貸してって言いそう。</p>
<p>キムラ弁護士、小説と闘う</p> <p>木村晋介</p>	<p>【書評でもない、評論でもない。裁判記録を読むように小説を熟読玩味する、キムラ弁護士ならではの面白小説論】</p> <p>小説を読む暇があったら裁判記録を読むという著者が、編集者に与えられて読んだ45冊の感想。わたしが読んでいる本は以下の16冊だった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「悼む人」「1Q84」「告白」「ハリポタ」「火の粉」 「間宮兄弟」「硝子のハンマー」「死亡推定時刻」 「吉原手引草」「アクロイド殺し」「弁護人の証人」 「テロリストのパラソル」「地下鉄に乗って」 「隠蔽捜査」「OUT」「翳りゆく夏」</p> </div> <p>「悼む人」の評価は分かれるけれど「火の粉」「間宮兄弟」「隠蔽捜査」を絶賛していたのはおなじ。</p>	<p>著者の酷評を読んでいたら面白そうに読みたくなった本多数。</p>
<p>相棒 劇場版Ⅱ</p> <p>大石直紀</p>	<p>【警視庁内で12人の幹部を人質にする事件が起きた。緊迫する室内から2発の銃声が鳴り、犯人は殺されてしまう】</p> <p>映画館で見たときに思わず「え」って声をだして驚いたところが本ではなくなっていたから、用意していた驚きがないまま尻すぼみ。</p> <p>映画封切りがテレビドラマより先だったので最後を変更したらしい。ならドラマが終わるまで待てばいいのに。これで映画自体は続かなくなったんじゃ？</p>	<p>娘はドラマを見てから映画を見たので知っていて、映画館で一人で驚いてたわたしにうるさいとピシャリ…。だってさ、驚いたんだもーん。</p>

<p>麒麟の翼</p> <p>東野圭吾</p>	<p>【寒い夜、日本橋の欄干にもたれかかる男に声をかけた巡査が見たのは、胸に刺さったナイフだった。大都会の真ん中で発生した事件の真相に、加賀恭一郎が挑む】</p> <p>読んでいて、「ガリレオ」の湯川は福山にあまり印象をかき乱されなかったけれど、加賀恭一郎はくぐもったような粘りっこい阿部寛の声が聞こえてきてドラマを見なければよかったと後悔。</p>	
<p>イーハトーブの幽霊</p> <p>内田康夫</p>	<p>【宮沢賢治が「イギリス海岸」と名付けた北上川の川岸に、男の他殺体が流れ着いた。被害者は「幽霊を見た」と話していたという。取材で訪れていた浅見光彦は事件の渦中へ。賢治の理想郷「イーハトーブ」で起きた連続殺人！】</p> <p>多作という東野圭吾と内田康夫を思うがこの本と「麒麟の翼」だったら東野圭吾の方が丁寧に書かれていて断然面白かった。</p> <p>「ただだよ」って言葉がヒントになるが、東北弁にぴんと来ないせいか無理やり感がある。</p> <p>読んでよかったと思ったのは、イーハトーブにしろ、宮沢賢治の言葉を作る能力ってすごいって再認識したこと。</p>	<p>「花巻は戦災で殆ど焼失したため～民家の多くは戦後に建ったトタン屋根の安普請である」という文章が二回も出てきた。花巻の人たち、気を悪くするんじゃないか…。</p>
<p>八日目の蟬</p> <p>角田光代</p>	<p>【「母性」をテーマにしたサスペンス作品。子供を誘拐した女・希和子の3年半の逃亡劇と、事件後、大人になった子供・恵理菜の葛藤を描く2章（プロローグである第0章を入れると3章）から構成される】</p> <p>テレビドラマで見てから本を読んだ。本では逃亡生活の母子の場面が多くべたべたしていて、ちょっと辟易したが、成人した娘を主役にしてから面白くなった。テレビではかなりの部分希和子が主役で、泣きどころの「この子はまだ朝ご飯を食べてないんですー！」は本ではさらりと想い出話として語られていただけ。映像化する人はこういうところをつまみだすのがうまい。</p>	<p>本とテレビでは被害者の家庭が一番違った。</p> <p>本の方が好きだけれど、テレビで鈍感そうな岸谷五郎が実は知っていて逃げろと伝えるところがちょっと感動した。</p>

<p>利休に尋ねよ</p> <p>山本兼一</p>	<p>【おのれの美学だけで天下人・秀吉と対峙した男・千利休の鮮烈なる恋、そして死】千利休は東京ガスのCMみたいに枯れた感じだと思っていたので肉食系で意外。</p>	<p>「江」の千利休は石坂浩二。なるほど、枯れてない。</p>
<p>ガラスの街</p> <p>ポール・オースター</p>	<p>【ニューヨークが静かに語り始める—オースターが一躍脚光を浴びることになった小説第一作】舞台はニューヨーク。「そもそものはじまりは間違い電話だった」って出だしが読みやすそうだったので読んでみた。最後まで読んだけど、純文学は推理小説でもだめでした。…推理なのか？</p>	<p>オースターは浜省が読んでいたので前に挑戦した。以来2連敗。</p>
<p>絶叫委員会</p> <p>穂村弘</p>	<p>気持ちが堕ちているときは、あまりにも力を入れずに呑気に生きている人とは接触したくない。奥田民生とかこの穂村弘とか。それで長い間グリコから借りっぱなしになっていた。</p> <p>色々な人の一言を集めてある本だった。面白い言葉に敏感で小笑いに処理している。</p> <p>わたしが過去に面白いと感じていたことを思い出させてくれた。例えば「100匹目の猿」の話とか貴花田が宮沢りえと別れるときに「愛情がなくなりました」と返しようなないほどまっすぐなコメントをだしたこととか。</p>	<p>打ち合わせの席でクライアントが理不尽なことを言いだし我慢できずに叫んだ言葉が「でも、さっきそうおっしゃったじゃねえか！」一瞬の気持ちの流れがよくわかる。</p>
<p>もうおうちへかえりましょう</p> <p>穂村弘</p>	<p>これは単行本のときに読んでいた気がする。そのときは思わなかったが、改めて2冊続けて読んでみるとこの人は枯れているようにみせかけて実は・・・的な千利休だと気がついた（千利休の枯れ具合はわたしのイメージ）。ずっともてなくてやっと恋人が出来て浮かれまくる高校生みたいで読んでいて疲れた。</p>	
<p>隠蔽2～果断</p> <p>今野 敏</p>	<p>【混乱する現場で対立する捜査一課特殊班と SAT。現場で指揮する竜崎の決断は。警察庁から大森警察署署長に左遷されたキャリアの竜崎伸也。襲いくる様々な圧力に竜崎は打ち勝つことができるのか】</p>	

前回の企画で宇江佐真理の名前を間違えてずっと宇江座にしてみました。

ファンじゃないねえ。。